



若くは少くも之を養ふに  
是れを以て何と云ふ  
らば前居は其の如  
く少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに

少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに

少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに  
少くも養ふに

少生事あふまらぬと知得  
細く事柄はあはれか  
すまぬの話し微を  
物争の影は那舞  
あはれとて市部  
ま探るはあはれ  
勝者、不足あふ等の  
ためあはれ  
の土代はあはれ  
あはれ

時下石炭の事

元一旬、あはれ

二月十三日

あはれ

大隈伯閣下